

タピオカミルクティー、略してタピオカ、それは台湾発祥で、近年、日本の若者に爆発的な人気を集めた飲み物です。タピオカの原料を真珠の形に加工してミルクティーに入れて、甘くて濃厚なミルクティーを飲みながら、もちもちした食感のタピオカパールを楽しめる一品です。今や台湾を代表する国民的な飲み物となっています。台湾だけでなく、タピオカは今、世界中でも注目を浴びています。そしてそのタピオカはある日、思いも寄らない形で、ある面白い事件を起こしました。

事件については NHK のある番組から語らなければなりません。2019 年 6 月、ある事柄をきっかけに、香港で大規模な抗議デモが起こりました。香港と似たような立場で注目された台湾、NHK は台湾の蔡英文総統にインタビューをしました。その番組で蔡英文総統は香港の未来と台湾が取るべき姿勢について語りました。向こうに厳粛な顔で端座する NHK の有馬キャスター、二人の間に国旗が立ち、厳かな雰囲気は漂い、いかにも重々しい会談でした。

番組が放送された後の反響は良くなかったです。それも無理もないことでしょう。政治に関する内容が難しいし、自分には関係のない話ですし、多くの日本人にとって、これはただのつまらない報道番組でしょう。

しかし、次の日に日本の SNS にこのような記事が出ました「99%の日本人は真剣な会談での飲み物がタピオカであることに気付くことが出来ない」。

コメントを見ると、「タピオカを飲みながらその真剣な眼差しで会談しちゃうの?」、「これは絶対 CG とかで加工したものでしょう」、「タピオカは甘いがこの会談は甘くないぞ!」、「真面目な会議にタピオカを出すなんて、さすがに本家は格が違う」。こういった意見が多く見られます。記事が出た後、わずか一日で数万人に転載されて話題になりました。

日本人の反応が面白いと、その記事を見た私は思わずそう思いながら興味を持ち始めた時、また次の日にその記事が台湾の SNS に流されました。台湾人のコメントの中には「言われてみると確かにタピオカだ」、「この二人の存在感が強すぎて、タピオカなんか気付かなかった」、「脳が疲れる会議だから、糖分補給

できそうな甘い飲み物を出すのも道理でしょう」といった意見が殆どでした。どうやら、99%の日本人がタピオカに気付かないことに対し、99%の台湾人もまた同じ事に気付くことができません。しかし、その気付かない理由は全くの正反対だと言えます。両方のコメントを見ると、多くの日本人は、デザートみたいなものはこんな厳粛な会議で出されるべきではないと考え、あまりにも非常識で、そもそもありえないと思ってタピオカに気付かないのです。

これに対して多くの台湾人は、重要なのはどんな飲み物かではなく、会談の内容こそ重要だと考えるからタピオカに気付きません。近隣で友好を保ってきた両国民の反応がこんなにも大きな違いが出るとは、興味を持って日本人の友達に尋ねたところ、私は一つの結論に至りました。それは、心構えの違いです。日本人の仕事への心構えは世界でも有名です。日本の職人と言えば大体、口下手で妥協知らず、融通が利かない、常に真剣な態度で仕事に臨む、仕事以外のことは眼中にない、といったイメージが殆どでしょう。心構えは行動に映します。多くの日本人は仕事を神聖視し、仕事場で甘い飲み物が出されるなんてありえないと思うのも、その日本人のDNAに潜んでいる心構えからなのです。その素晴らしい心構えがあっこそ、今の日本社会の礎が築かれました。一方、日本人に対し、台湾人は心構えが足りないと言われます。国の未来を語る厳粛な会議であんな甘い飲み物を出すなんて仕事放棄か!やる気が全く感じられないぞ!日本人から見ればそう思われるのも仕方ないでしょう。

実は少し前に、台湾でこのようなニュースがありました。タピオカブームにより、日本の業者は台湾のタピオカ工場に発注しました。工場側はこれを輸出の好機だと思い、特別に専用生産ラインを設けたのです。専用生産ラインに、タピオカのサイズ誤差はもともと±2ミリまでは許容範囲内でしたが、今は0.5ミリまで厳密に要求されています。従業員の衛生管理も以前より厳しくなり、体や設備の洗浄時間は前より倍になりました。これくらいの要求は日本人から見れば当たり前のごとでしょう。しかし、その要求は台湾人に細かすぎるとわれ、現場の従業員を苦しめました。タピオカのサイズ誤差が0.5ミリまで要求されたことにより、不良品率が一気に上がり、神経質なまでに管理される現場の雰囲気も含め、従業員たちを窮地に追い詰みました。工場側は試行錯誤を何度も

重ねてきた結果、ようやく日本の業者の注文に応じ、安定かつ良質なタピオカの輸出を成功させました。

前にも言ったように、心構えは行動に映します。そしてその行動もまた自ら心構えをより一層輝きます。日本人のその怠らずに精進を重ねた心構えは、日本職人の名を世界に轟かせました。

日本人と台湾人の最大の違いとは、まさにその心構えの違いと言っても過言ではありません。ここで言っている心構えの違いというのは、程度の違いではなく、より根本的、決定的なものを指すのです。そこからさらに突き詰めると、答えを絞り出すことができます。結局のところ、両国民の価値観は根本的に違います。心構えが違うのも、その価値観が心構えに大きな影響を与えたからなのです。価値観というのは、つまり物事に対しての態度や考え方です。日本人の価値観と言えば、それは常に物事の外側から内面の隅々まで行き届いた心配りです。物事自体はもちろん、物事の「形」も重視されています。日本人の友人に聞いたところ、多くの日本企業には朝礼という習慣があります。毎朝仕事に入る前に社員達を集め、皆大声で社訓を朗読したり社歌を歌ったりするそうです。そして朝の公園ではラジオ体操の参加者も多くいます。体を動かし、心を整えてから一日を始める日本人は多いそうです。

一方、台湾人の価値観と言えば、比較的形を重視しません。結果さえ良ければ、過程や形が多少型破りでも許されます。例えば大学の授業、台湾では、生徒達が授業中に朝食を食べながら先生の講義を受ける、こうした光景はよく見られます。このことを日本人の友達に話した時皆驚きました。「日本だと絶対ありえない」とか、「スケジュール管理が甘いと思われる」とか、「先生に対する尊敬が足りない」とか散々言われました。しかし、台湾では、それはごく普通のことです。誰も怒ったりしません。もちろん、匂いが漂うような食べ物は他人に迷惑をかけるので、台湾人でもそれを控えます。ただ普通のおにぎりやパンなら授業中に食べても、だらしないとか無礼だとか思われたり怒られたりしません。若干大雑把な言い方ですが、簡略に言うと、日本人は結果だけではなく、外側の形も内面の細かいところまで全て重視し、それを心構えの一環として認識しています。そして台湾人にとって、過程や形など、所詮上辺のものに過ぎない、形

に囚われずに、良い結果を出すことこそが最優先事項だと、このような考え方を
持つ台湾人は多いのです。

心構えとは個人の信念に繋がります。どのような心構えこそが正しいか、私はそ
う言いません。ただ、物事には調和というものが必要、過不足が出るとバラ
ンスが崩れやすくなってしまいます。「他人の振り見て我が振り直せ」とも言いま
す。自分の足りない部分は他人の行動を見て改める、日本と台湾の関係はまさ
にこの通りです。台湾では、良い結果さえ出せば、形などどうでもいいと思
い、心構えが十分できていない人が多い、そのため、台湾人は現状に甘んじる傾向が
あります。

中国語にはこういう言葉があります、「学如逆水行舟不进则退」。学問の探求とは、
激流を逆らって舟を進めるようなもの、前へ進まなければ激流に押し流されて
後退あるのみ、という趣旨の言葉です。グローバル化が進む現代社会において、
現状に甘んじれば、いずれ後から来る者に追い越されてしまうのでしょうか。だ
からこそ台湾人は自ら心構えをさらに磨き、常に精進を怠らずに努力しなければ
なりません。台湾人にとって、日本人の心構えはまさにその「他人の振り」で
す、日本の職人技こそ、代々研鑽の粋を集めに集めてきたもの、まさに日本人の
誇りの在り処と言っても決して過言ではありません。しかし、人間の体は機械
ではない、鋼でも鍛えすぎると持ちません、ましてや人間の体ときたら尚更の
ことです。

現に日本はストレス社会と呼ばれています、以前より便利で快適な生活が実現
される中、社会の競争も激しくなる一方です。数え切れない程の競争相手から
抜け出すため、多くの日本人は、十二分の心構えをもって常に神経を張り詰
めて今の地位に辿り着きました。しかし、その分のストレスも同時に溜め込んで
しまいました。日本では、過大なストレスで体を壊してしまった人も決して少
なくありません。仕事熱心で身を捧げるのは紛れもなく素晴らしいことですが、
体まで壊してしまったら本末転倒です。しかし、それもそれで仕方がないと思
う日本人は今でも多くいます。ここは敢えて一つだけ言わせてもらいましょう、
憩いは怠惰ではありません、一時の休息は更なる遠い旅路に着くためです。

あなたは様々なストレスを抱えていませんか？

仕事に穴を開けたらどうしようと心配で、休まずに仕事に没頭していますか？
明日への力を作るためにも、ここはまず、タピオカ一杯から如何ですか？